

Noism Company Niigata 2026 冬公演

# Noism0 + Noism1 『Morimur』

演出振付：金森穰



ラテン語で「我々は死にゆく者である」を意味する「Morimur」(モリムール)。

J.S. バッハ《シャコンヌ》に秘められた喪失と祈り、そして再生への希求。演出振付家・金森穰が長年向き合い続けてきたこの楽曲への挑戦は、2012年に創作された『solo for 2』をその内に抱えながら、新たな舞踊作品として結実します。

死を見つめることは、生を見つめること。Noismが問い続けてきた身体と精神、その歩みの先に生まれる新たな舞踊を、ぜひ劇場でご覧ください。

音楽：J.S.Bach

ヒリヤード・アンサンブル&クリストフ・ポッペン  
「Morimur (after J.S.Bach)」より

椅子：須長檀

衣裳：井深麗奈

出演：Noism0、Noism1

舞台監督：夏目雅也

照明：伊藤雅一 (RYU)

音響：渡邊雄亮

【新潟公演】 2026年12月11日(金)、12日(土)、13日(日)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

【東京公演】 2026年12月26日(土)、27日(日)

東京芸術劇場〈プレイハウス〉

## お問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

舞踊企画課：伊藤英行 Noism 制作担当：上杉晴香 広報担当：高橋和花

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

TEL: 025-224-5627 (10:00-18:00 / 休館日除く) FAX: 025-224-5626 E-mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト [www.noism.jp](http://www.noism.jp)



Noism



@NoismPR



noism\_official



NoismPR



## ■公演によせて

Noism 国際活動部門芸術監督 井関佐和子

りゅーとぴあでの本公演も、あと残すところ2回となりました。

2004年の設立以来、Noismはこの劇場を拠点に、日々身体を鍛え、創作し、舞台に立ち続けてきました。劇場に専属する舞踊団として、同じ場所に集い、作品を生み出し、観客の皆さまに届ける。その日常は、私たちにとってかけがえのないものであり、決して当たり前存在したものではありません。

22年の間に、多くの舞踊家がここに集い、そして旅立っていきました。その一人ひとりの身体と時間、そのすべての積み重ねが、現在のNoismをつくっています。

今回上演する『Morimur』は、J.S.バッハの《シャコンヌ》を中心に、「死」を見つめる作品です。

しかし、死を見つめることは、終わりだけを見つめることではありません。限りがあるからこそ、いまここにある生を見つめることでもあります。

舞踊は、舞台が終われば、その瞬間に消えていきます。しかし、身体から身体へと受け渡されたもの、観た人の記憶に刻まれたものは、次の時間へと残っていく。22年間、りゅーとぴあで積み重ねてきたNoismの時間も、きっと同じなのだと思います。

私たちはいま、これまでを懐かしむためではなく、いまここにある時間と向き合うために舞台に立ちます。

残された一回一回を大切に、この劇場で、このメンバーで、この作品を踊ることのできる、二度と戻ることのない時間を、皆さまと分かち合いたいと思います。

### 井関佐和子 Sawako ISEKI

舞踊家。Noism Company Niigata 国際活動部門芸術監督。

1978年高知県生まれ。3歳よりクラシックバレエを一の宮咲子に師事。16歳で渡欧。スイス・チューリッヒ国立バレエ学校を経て、ルードラ・ベジャール・ローザンヌにてモーリス・ベジャールらに師事。98年ネザール・ダンス・シアターⅡ（オランダ）に入団、イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、ポール・ライトフット等の作品を踊る。01年クルベルグ・バレエ（スウェーデン）に移籍、マッツ・エック、ヨハン・インガー等の作品を踊る。04年4月Noism結成メンバーとなり、金森穰作品においては常に主要なパートを務め、日本を代表する舞踊家のひとりとして、各方面から高い評価と注目を集めている。08年よりバレエミストレス、10年よりNoism副芸術監督を務める。22年9月よりNoism Company Niigata 国際活動部門芸術監督。第38回ニムラ舞踊賞、令和2年度（第71回）芸術選奨文部科学大臣賞受賞。✂ @sawakoiseki



photo: Noriki Matsuzaki

## 『Morimur』

19 歳で初めて耳にした時から私の心を驚掴みにし続けてきた、J.S.バッハの無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第 2 番の終曲《シャコンヌ》。いつか、いつの日かと、振付する時を待ち続けてきた《シャコンヌ》に、この冬いよいよ挑む。その決意の背景には、りゅうとぴあ専属として残すところ 2 プログラムとなった Noism の現状がある。

何事にも始まりがあれば終わりがある。その明らかな象徴は生命にとっての誕生、そして死である。しかし何かの終わりがまた、何かの始まりに値すること、何かを終えることでしか始まらないものがある。そうして死が再生となり、技能が、知恵が、精神性が継承されうることも、文明文化の系譜を見れば明らかである。

今回使用するアルバム「Morimur」は、音楽学者のヘルガ・テーネの研究／発見からインスピレーションを得て構想されている。テーネはその研究の中で《シャコンヌ》の中にルター派のコラールが隠されていることや、《シャコンヌ》を含む無伴奏ヴァイオリン・パルティータ全体が、誕生、死、再生というイースター的な意味合いを内包していると主張している。

J.S.バッハが最初の妻を亡くしたことを契機に作曲したとされる《シャコンヌ》は、強烈に死の影を帯びながらも、その影によって逆照射される生（再生）の輝きを放っている。人は誰しも、いつか死ぬという不可避の運命を抱えている。であるからこそ、「今ある生」や「芸術・精神性」が輝くという思想に基づいて作曲された（とされる）《シャコンヌ》に挑むこと。それは私にとって舞踊とは何かに挑むことに他ならない。

齢 50 を超えた私にとって、踊ることの意義は変容しつつあると感じる。それは技能の獲得や表現の模索といった個人的な探求のプロセスであったものが、技能や知恵をいかに、どのように伝えていけるかという、伝承のプロセスに入っているという実感である。《シャコンヌ》に挑む時は、今を置いて他にないと思われる。

**金森穰 Jo KANAMORI**

演出振付家、舞踊家。Noism Company Niigata 芸術総監督。

17 歳で渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ・ベジャール・ローザンヌ在学中から創作を始め、NDT2 在籍中 20 歳で演出振付家デビュー。10 年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍し帰国。2004 年新潟市りゅうとぴあにて日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。

その作品と革新的な創造性に満ちたカンパニー活動は高い評価を得ている。2021 年紫綬褒章受章。

2026 年 3 月一般社団法人 NEMUSPORTA 設立。 [www.jokanamori.com](http://www.jokanamori.com) [X @jokanamori](https://twitter.com/jokanamori)



photo: Shoko Matsuhashi

## ■ Profile

### Noism Company Niigata (ノイズム・カンパニー・ニイガタ)

[www.noism.jp](http://www.noism.jp)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術総監督は金森穰。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0（ノイズムゼロ）、プロフェッショナルカンパニーNoism1（ノイズムワン）、研修生カンパニーNoism2（ノイズムツー）の3つの集団があり、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動。2004年の設立以来、りゅーとぴあで創った作品を国内27県47都市、海外12カ国23都市で上演。新潟から世界に向けてグローバルに活動（国際活動部門）を展開するとともに、市民のためのオープンクラス、学校へのアウトリーチをはじめとした地域に根ざした活動（地域活動部門）を行っている。Noismの由来は「no-ism＝無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆるismを再検証することで、今この時代に新たな舞踊芸術を創造することを志している。

23<sup>rd</sup> (2026 / 2027) シーズンメンバー

芸術総監督 / Noism0＝金森穰

国際活動部門芸術監督 / Noism0＝井関佐和子

地域活動部門芸術監督 / Noism0＝山田勇氣

Noism1＝中尾洸太、庄島さくら、庄島すみれ、坪田光、糸川祐希、太田菜月、春木有紗、与儀直希、バスティアン・ボレル

準メンバー＝大崎健太郎、鈴木彩水、四位初音、沖田風子



photo: Shoko Matsushashi (金森穰)

Noriki Matsuzaki (井関佐和子・山田勇氣・Noism1)

Noemi Martone (バスティアン・ボレル)

**【新潟公演】 2026年12月11日（金）19:00、12日（土）17:00、13日（日）15:00 ※全3回**

**りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉**

**入場料（税込）：**全席指定 5,500 円 U25 3,000 円 高校生以下 1,000 円

**【東京公演】 2026年12月26日（土）15:00、27日（日）15:00 ※全2回**

**東京芸術劇場〈プレイハウス〉**

**入場料（税込）：**全席指定 6,000 円 U25 3,500 円

- \* 未就学児の入場はご遠慮いただいております。
- \* U25 は公演時 25 歳以下の方対象（未就学児を除く）。U25・高校生以下の方は入場時に身分証をご提示ください。
- \* 開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。
- \* 託児サービス、車イス席、鑑賞サポートサービス等の詳細は各劇場の HP をご確認ください。
- \* 営利目的での転売を禁止します。

**取扱い：りゅーとぴあ（オンライン・電話・窓口）** ※2026年4月1日（水）より、営業時間 10:00-17:00 に変更

▶ オンライン・チケット <https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/> [発売初日 10:00-]

▶ 電話 025-224-5521（10:00-17:00 / 休館日除く） [発売初日 10:00-]

▶ 窓口（りゅーとぴあ 2 階） [発売初日取扱いなし]

一般発売初日は、インターネットと電話予約に限定させていただきます。

残席があった場合、翌営業日 10:00 より窓口にて取り扱います。

**東京芸術劇場** ※東京公演のみ

▶ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/geigeki/> pコード：544-018

▶ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 [10:00-19:00 / 休館日除く]

<https://www.geigeki.jp/t>

**公演詳細：** <https://noism.jp/npe/morimur/>

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）※東京公演

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

[この事業は新潟市から補助金の交付を受けて実施しています]

私たちは Noism Company Niigata の活動を応援しています。

Chacott



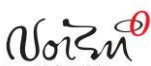
jamrucrew Inc.  
ジャムルクルー株式会社



Noism  
Unofficial



**HARADA DENTAL CLINIC 他 1 社**



Noism Company Niigata / RYUTOPIA Niigata City Performing Arts Center

